

市長と本気で語るタウンミーティング「言っちゃお！市長と。」
【対象者別】立川市老人クラブ連合会（概要）

日時：令和6年10月8日（火）

14時30分～16時00分

場所：柴崎福祉会館

1 開会の挨拶

（改革推進課長）

皆さん、こんにちは。定刻となりましたので、ただいまより市長と本気で語るタウンミーティング「言っちゃお！市長と。」を開催いたします。

本日は、老人クラブ連合会理事会後の貴重なお時間を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。

私は、タウンミーティングの事務局を務めます、立川市市長公室改革推進課長の奥野と申します。本日はよろしくお願いいたします。

本日の予定ですが、初めに村本会長、酒井市長からそれぞれご挨拶をいただいた後、意見交換会に移りたいと思います。意見交換会終了後、酒井市長から閉会のご挨拶をいただき、16時終了予定としております。

それでは、初めに村本会長、ご挨拶をお願いいたします。

（老人クラブ連合会会長）

理事会のときにも報告しましたが、理事会終了後、市長とのタウンミーティングということで、普段考えていること、こうしてもらったらいいなことがもしあれば、どんどんおっしゃっていただいて、取り上げていただけるかどうかは分かりませんが、何とかなるかもしれません。よろしくお願いいたします。

（改革推進課長）

村本会長、ありがとうございました。

続きまして、酒井市長からご挨拶いたします。

（市長）

皆さん、こんにちは。立川市長の酒井でございます。

立川市老人クラブ連合会の皆様方には、理事会後お残りをいただき、ありがとうございます。今年度初となりますタウンミーティングは、ネーミング変え、前市長までは、「市長と語ろう。タウンミーティング」というネーミングでしたけれども、少しはじけようかなと思ひまして、「言っちゃお！市長と。」、市長にじゃないんです。市長に一方的に話をするのではなくて、立川の未来のことを市民の皆さんと一緒に責任を持って語り合う場にしたいなど。なので、市長と本気で語るタウンミーティング「言っちゃお！市長と。」という形でネーミングを変えさせていただきました。

昨年、9月8日に市長に就任をいたしまして、早1年余が経過をいたしました。本当にあっという間に1年って経ってしまうんだなというふうに感じておりますけれども、最初に皆様方とお話をさせていただいたときに、これは前年からのちょっと踏襲で、事前に連合会の皆様方からいただいたご要望を、私がこの場で、それも文面を読むというふうに聞いていたので、そ

のような形でやらせていただいたんですけれども、ごめんなさい、はっきり言うと、何てつまんないだろうと。文書でもらったものを文書で返すのでは、事前に返しておけばよくて、この場は、皆さんから自由闊達なご意見をいただく、そういった場にしたいほうがいいんだよなということを、帰った後に担当にもお伝えをして、今年度は通常の文書を読み上げるということではなくて、皆さんからいただいた率直なご意見を、私の知識として持っている限りはこの場所でお伝えをさせていただきたいと思います。

また、ちょっと金目の話については、これは財政当局とも相談をしないと、市長、勝手に言っちゃ駄目っていうふうに言われますので、その点については持ち帰らせていただくこともあろうかと思います。細かい数字等に関することについては、すみません、私も56歳になりました、記憶がだいぶあやふやになっているところもありますので、数字等で私の話では足りない部分については、本日それぞれ担当の部長と一緒に参加をさせていただいておりますので、部長からお答えをさせていただくこともあろうかと思いますが、その点についてはご容赦をいただければというふうに思っております。

去年は1時間という時間だったんですけれども、子育て世代や、あるいは地域別でそれぞれでやったときに、どうしても1時間では収まらないんですね。ということで、この老人クラブ連合会の皆様方との会を皮切りに、1時間半時間を取らせていただいて、こういったタウンミーティングの機会もいろんなやり方を考えながら、市民の皆さんとしっかりと立川市の未来を語り合っていける、そういった場として進化をさせていきたいなというふうに思っておりますので、皆様方にはぜひとも活発なご議論をいただければと存じます。

私、毎週末に市長室でこの1週間、いろんなことがあるんですけれども、その中のトピックスを1分動画にまとめて、YouTubeのショート動画という形で毎週土曜日にアップするという形で配信をしています。それ以外にも、今、立川市の広報課のほうでは、市長の記者会見の場を、記者さんとやり取りをしても、それが記者さんの目を通してでしか記事にならないと。具体的にどういうやり取りをしているのかということ、市民の皆さんにも公開したほうがいいんじゃないということで、それは広報課の方が動画を撮って、立川市のYouTubeチャンネルに載せていただいております。これは、あくまで私用で、ちょっと今日、皆さんの顔は映らないようにします。また、皆さんのお名前を言ったところも、ちゃんと後でカットするようになって、うまく撮れていたら、私のYouTubeチャンネルにタウンミーティングやったよって、こういう話が出て、私はこういうふうに答えているよということを、情報公開の1つとして使っていきたいなということで、試しにそのような形で録画をさせていただいていることと、皆さんのお名前はちゃんと分からないように編集しますので、その点については、もしうまく撮れたときには公開をするということをご了承いただければというふうに思っています。

絶対嫌だという人いますか。いらっしゃいませんか。ありがとうございます。

今日を皮切りに、2回目以降も皆さんに、いいですよって言いながら、公開をしていければなというふうに思っております。

どうか今日は限られた時間ではございますけれども、皆様方が日頃、立川市内にお住まいになられていてお感じになっている身近な話題、あるいは疑問、要望等々、何なりと遠慮せずにおっしゃっていただければというふうに思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

2 意見交換

(市長)

どうぞ皆さん、我こそは一番という方。

はい、ではお願いします。

(参加者)

今日お話ししたいのは、公園なんですけれども、公園が随分荒れてきているんです、最近。今、幸五南公園というところで、毎週3回、グランドゴルフの練習をやっているんですけれども、私、7年前からそこでやっているんですけれども、地面の土がだんだんだんだん流されてきて、もともとの公園を造ったときに、土の中にたぶん石灰を混ぜてあったんじゃないか。その石灰が固まって、コンクリートの塊があちこちにできています。こういうことがあったので、2年前に市役所のほうに、担当部署のほうにもお願いして、その時点で出てきてのぞいてきているのを掘り取ってもらったりしたんですけれども、その後、この2年間でもうすごい、その時点よりも物すごく、公園の土の部分のあちこちにコンクリートがはみ出した状態があるんです。

これは、我々はグランドゴルフで遊ぶんだけど、子どもたちも遊ぶ場所なので、たぶんあの公園を、7年前から本格的に土を新たに入れるとかやっていない状態なんで、一度点検いただいて、これ問題だなと思ったら少し土を、2、3センチ盛るぐらいな感じでやっていただければと思います。

たぶんこの話は、ほかの立川市内あちこちの公園も同じような状況があるんじゃないかなと。地面が荒れている。周りの木を剪定するとか草を刈るとか、それはある程度定期的にやっていただいているんですけれども、地面が随分荒れているので、よろしくご検討お願いしたいです。

(市長)

今、お話しいただいた公園につきましては公園緑地課が担当になりますので、早速どういう状況かということを確認させます。また、市内全てを把握しているわけではないんですけれども、公園の管理自体、市が直接やっていたり、あるいは公園等管理協力員でしたかね、今お話あった雑草の処分をやっていただいたりということで、それぞれの公園によって管理の形態が若干違うのかなと。ただ、公園の整備は立川市の責任でございますので、不都合があれば、順次手入れをしていかなくはいけないというふうに思っています。

ただ、それが何年に整備をしてどういう計画になっているのかということ、市内に公園たくさんありますので、その公園の中で、この公園はという時期にという改修をしたのかということちゃんと把握をした上で、今ご指摘の公園をはじめとして、必要度の順位はつけさせていただかなくてはいけないというふうには思うんですけれども、予算の関係上、しっかりと対応していきたいというふうに思っております。

また、よく公園等々では、やはり草が伸びてしまっという、そういったご要望をいただいたときには、なるべく早くやるようにと。最近ちょっと、お隣の日野市さんで問題になった、枝が倒れてお亡くなりになられたという事故もありましたので、やはり公園の中での樹木等々に関しても、市民の方、ご高齢の方、また子どもも、あらゆる世代の方が遊ぶところですから、そういった危険性がないように、少し樹木が立ち枯れていたりとか、あるいは根腐れをしていないかとかということも、早く立川市の公園等、あるいは街路樹を含めて、点検をしてねという話もしておりますので、その部分とも併せて、公園の問題については、現場を確認の上、対応をしていきたいというふうに思っております。

(参加者)

はい。

（参加者）

このタウンミーティングがあるということで、去る4日に明和会の中でちょっと打合せをして、酒井市長に何か言いたいことがありますかという話をしましたら、2つありました。

まず1つ目です。1人の方が、市役所の職員さんの対応がすごくよくなったと。これは、せっかくなので市長のほうにぜひ言っておいてほしいということでありましたので、お伝えします。これは今後とも、カスハラとかいろいろあるでしょうけれども、ぜひこのまま続けていただければというふうに思います。

あともう一つは、先ほどの公園にも絡むんですが、曙町3丁目のところに第三公園とかがあるんですが、そこが、今は何もないというか、広場みたいな公園になられて、実は、町内会でもお盆の盆踊りとかお祭りとかやって、非常に利用させていただいているんですが、1人の方が、やっぱり公園なのでシニア向けの何か施設、そういうのを考えてみてほしいという意見が出ました。

例えばといったら、日よけが欲しいと。例えば、ほかの公園で東屋みたいなものがあるんですね。そういう日よけみたいな木の陰もいいんですけども、そんなことも1つの提案とさせていただきたいということがありました。

その話の続きとして、あそこが今度都道の28メートル道路に引っかかってきてしまうんですね。それで、たぶん削られてくるんです。ですから、今後どういうふうに持っていくのか、やっぱりいろいろ手間とか考えて、あと塀も含めて、どういうふうに整備していくのかと、もう一つそれに付随して、緑川道路ですね。あそこが今下水道の整備がされていて、それが終わるとたぶん共通の整備がされてくると思うんですが、最終的に今の中央の緑地帯もあるし、駐車場もあるし、その辺を立川市としては今後どういうふうに考えているのか、それをちょっとお伺いしたいなと思います。よろしくお願いいたします。

（市長）

では、1点目の市の職員の対応がよくなったということで、ありがとうございます。

そういった声、何か手前みそみたいで大変恐縮なんですけれども、酒井さんになってから市の雰囲気明るくなったと言っていたただける向きがございまして、たぶんそう言っていただけの方と同じぐらい、悪くなったという方も世の中っていると思うんですよ。全部が同じ意見だったら、それはあんまり体制としてよくないじゃないですか。当然、良いと言う人もいれば、悪いと言う人もいるのが社会なんです。ただ、そういうふうに言っていたただけることは大変励みになりますし、大変うれしく思います。

ただ、私の中では、まだまだ市民サービスという面では、市民の方が来たら、まずいらっしゃいませでしょうって、帰るときには、また何かあったらお越しくささいって言ってほしい。やっぱり市民サービスを最高のサービスにしていって、そのほうがお互いにとって気持ちいいじゃないですか。最後の市民の皆さんにありがとうと言っていたただけるようなサービスを目指していくこと、あるいは市民対応をしていくことということが理想形でございます。

ただその一方で、今カスハラのお話をされたように、市の職員も大変疲弊をしている事例もあります。お褒めだけではなくて、いろいろとクレームをおっしゃって、そのクレームもクレームとしてお受けはするんですけども、それがゆえに、1時間以上電話を切ってくれないとか、あるいは何度も何度も電話をされるとか、あるいはちょっと威圧的な態度で話をされる。逆に、私の市長としての立場は、そういった状況の職員自身は守ってあげなくてははいけないと思っているんです。ちゃんと職員に対しても、市長が気を配っているよというところ、また働

きやすい環境をつくることによって、市民の皆さんにしっかりと目が向くような、そういった立川市の行政の仕事の好循環というものを、ただやれやれということではなくて、そういった環境をつくっていければなというふうに思いながら、今、2年目に入りました。いろいろと職員の皆さんからも職場改善の提案を出していいんだよと言ったら、どーんと来まして、当初10件とか20件ぐらい来ればいいねと言っていたのが、約460です。

市の正規職員は定数上1,050人ぐらいなんです。ということは、半分ぐらいの職員がいろんなことを思っていたんだけど、今まで市長には言えなかったんだろなっていうところを、ちゃんと市の職員も気持ちよく仕事をするのが、市民の皆さんへの心のゆとりになってサービスに向けるようにしていきたいなと。

今週は出張してできなかつたんですけども、週初めの朝、登庁して時間のあるときには、本庁だけなんですけれども、全部回ってみんなにおはようと、今週もよろしくねと。そこにたまたま居合わせた市民の皆さんには、いらっしゃいませということで、ちょっとそういう市長自らの姿も見せながら、職場を変えていけたらなというふうに思っておりますので、今後あちらこちらから、市が良くなったねと言われるように頑張っていきたいというふうに思っております。励みになりました。本当にありがとうございます。

今、公園の話からスタートして、道路の話なんですけれども、立3・3・30号線については、東京都の事業ということで行っていて、私も曙町3丁目に住んでおりますので、用地買収等がだんだん進んでいるなという印象です。

立川市に関しては、この立3・3・30号線がある程度用地買収ができて、目処ができたときには、緑川通り、今、曙町の人たちはあひる公園と言って分かると思うんですが、そのところを抜いて接道するという計画になっています。そのあひる公園の道路の計画の代わりに、昔競輪場の選手の方の駐車場で一部使われていたところを、先に公園にして、道路ができると、この空いたところを緑道みたいな形にして、ちょっと遊具とかを設置をしようというふうに、その場所はなっています。

今、お話の向きは、曙町3丁目第三公園でお祭りとかやっているところだと、東町会の辺りであったりということなんでしょうけれども、基本的には、東町会の北側の部分に関しては、自衛隊のほうにかなり入り込む部分のほうが大きいというふうに思っています。少しクランクになっているところは、道路にかかるのかなということですが、いずれにしても、道路計画は道路計画として東京都として進めているものなので、それを立川市としては見守りつつ、立川市の計画をそれにどう合わせていくのかということです。

公園についてなんですけれども、確かに遊具がある公園とない公園、また、昔遊具があったんだけど、壊れてしまって、結局撤去して、子どもにとってはあんまり面白くない公園だし、ご高齢者にとっても、日よけもないし、昔は藤棚があったりだとかっていうことがありますので、ちょっとそういった具体のご要望があるところについては、やはり今、夏場の暑さというのは異常ですので、そういった日よけの部分も考えていかなくてはいけないなというふうには考えています。また、あと最近、子どもの遊具だけではなくて、健康遊具みたいな形で、ちょっとお年を召された方でも軽く運動していただけるような、そういった遊具を設置している公園もありますので、地域の方のご要望に応じて対応はしていきたいなというふうに思っています。

ただ、全部一律にやってしまうと、うちは望んでいないのにみたいな話もありますので、そのあたりは、先ほども公園についてのお話もございましたけれども、それぞれの地域の中で、この公園ってどういうふういろんな世代の皆さんが楽しめる場所として整備をしていったらいいのかという部分については、片方の意見だけではなくて、いろいろと地域のご意見を伺い

ながら、整備あるいは改修等々も、市の中で順次取り組んでいきたいというふうに思っています。

（参加者）

ありがとうございました。

（市長）

では、次の方どうぞ。

（参加者）

以前、市長さんに言ったんですけれども、私がそのとき何を言ったかという、やっぱり現役の職員だったら、市民の中に入っていかなかったら分からないです。その一番の大事なところとして、やっぱり自治会に入ってもらって、自治会の役員、もちろん立川に住んでいなきゃ、住んでいるところに出られるんですかね。とにかく市民と触れ合って一緒に活動する。それで、市民の感覚が分かって話が聞ける。それからOBになったらどうするか。私のように老人クラブをやればいいのか、そういうふうにぜひやってほしいです。

もちろん、市の職員の中でも一生懸命やっている方もいらっしゃるし、OBになった方も結構やっている者もいるんですけれども、私が見るところやっぱり少ないですね。私は自治会長の際に、市の幹部のOBの人に言ったら、いや、卒業後は自分の人生だなんて言われたから、お前、何言っているんだといって、けんかになったことがあるんですけれども。

やっぱり市民とともに汗を流さなければ分かりません。変な話、いざ鎌倉になったときには、市の職員が頼りになるんですからね。そういうことで、いろんな考え方、執行部の人にとってはいろいろ聞かないで、もうちょっと檄を飛ばしてやってください。よろしくお願いします。

（市長）

ある意味、激励だというふうに受け止めさせていただきたいと思いますが、本日同席している市の職員の中にも、北のほうのエリアで自治会活動をたくさんやられていて、その他の職員でも、担当ではないですが、地域の健康フェアや運動会とかの中に入っただけなのは市長としてもありがたいなと思っています。

ただその一方で、今、働き方改革なるもの、あるいは、私、昭和なので、当然昔は気合と根性だと。と、ほんの少しの遊び心と言っているんですけれども、でも今、市長それ言うとパワハラになりますよって言われて、できればねとか、なるべくねみたいな話しかできず強制しづらい。その一方で、立川市内在住の市の職員も、昔よりもやはり比率は低くなっているのかなというそういった思いもある中で、こういったご意見を出していただいているということは、これはなるべく庁内の中で伝えていきたい。

市が一生懸命自治連で、町会に入ってくださいと言っているのに、その市の側の職員が入っていないというのも、市民にお願いをしておいてというところからいうと少し違うのかなという思いと、あとOBの職員で、確かにたぶんそういうふうな方もいらっしゃるでしょう。その一方で、ある地域に行くと、OBの方がすごく頑張り過ぎるほど頑張っているという方もいらっしゃいますので、やはり立川市の職員を経験した方は、いざ災害が起こったときだとか、そういったときには立川市に関わっていただいていた方なので、今、正規職員1,000人しかいませんし、立川市民は半分以下ですので、大きな災害が起こったときにはすぐに来られないのが

実態だと思うんですね。そういったときには、OBの職員の皆さんが、何か予備的にお手伝いをしていただけるような、そういった仕組みも何かできたらいいんだよなというのは、自分の中では思っております。これもなかなか、個人主義がだんだん強くなってしまっているところで、難しい問題ではありますが、そういったご提案をいただいたということでしっかりと受け止めさせていただきたいと思います。

ただ、強制はできないというところは、ご理解をいただければということで、ご容赦をいただければと思います。

（市長）

では、次の方どうぞ。

（参加者）

言っちゃおということなので、ちょっと3点ほど話しちゃおうかなと思います。

もう新しくないんですけれども、くるりんバスの件に関して、若葉町は本当に市の端っこでございます。泉体育館へ行くのも、市役所のほうも大変で、立川に出て、それからという。うちだけではないんでしょうけれども、その辺含めて、東西のバス路線が欲しいということは、もうずっと何年も何年も、たぶん耳にたこぐらいに市の方には、市長は2年目ですけれども、聞いていらっしゃると思います。その辺ぜひ、たぶんまたフリーパスのコースや何かで検討が始まると思いますので、もう一度、当時も若葉町からの、立川市駅まで行くバスに関しては、全然料金的にプラスの状況でいたと思いますので、よろしくお願いします。

それから、去年も申し上げたんですけれども、登校時の子どもの見守り。私、今、あいあいパトロール隊をやっておりますので、毎朝学校の前に立って横断歩道を見ております。2か所の横断歩道があるので、こっち側から来る1年生が多いというときは、うろうろしながら見ているんですが、やはりうちの一部だけではなく、立川市全体を見たときに、大変危ない場所が考えられるんですね。自分が全部見られるわけではないのであれですけれども、若葉町は何か所か間違いなくある。他の地区もたぶん間違いなくあると思います。その辺を確認いただいて、子どもは地域の宝ですので、事故が起きてから、やっぱりあそこやればよかったねではなくて、今からぜひ予算をつけてやっていただければと思いますので、よろしくお願いします。

それから、最後の3点目ですが、バスカード、シルバーパスの件についてですけれども、けやき会の中で、私のところに3人の方がどうしたもんだろうという相談が来ました。一番最初に来たのは、7月の後半に、うちには何も来ないんだけど、どうしたらいいという相談があったので、まずは立川市のほうにお電話しました。そうしましたら、立川市は分からないので、東京のバス協会のほうに連絡してくれということで、電話番号を伺いました。幾らかけてもつながりません。私とその相談に見えた方、2人でかけましたが、結局、私がだいぶかけてつながりました。その方の言うことは、順次出していますので、8月後半まで待ってくださいということだったんですね。そういう話をしまして、じゃあもうちょっと待ってみようねということで待ちました。その方が1人。

もう一人は、しばらく経って、9月に入ってから出したのに、もう一度出してくれという手紙が来たのよねって言うんですね。それはやっぱり、電話では埒が明かないと思ったんで、市役所に行きました。こういう人がいるんですが、市役所では分からないということなので、東京のバス協会に直接連絡できる場所の電話番号を教えてくださいというふうに伺って、その用だけでなく、ついでなんですけれども伺って帰ってきて電話しましたが、ただいま使われておりませんということでした。

もう一方は、もう本当にぎりぎりですね、9月20日過ぎてから、うちにはまだ来ないのよねと言うんですよ。その方にも、とにかく9月いっぱい待って来なかったら、10月に入ってからもらいに行けば、たぶんくれるよという返事しか、私にはできなかったんですね。その方は、最終的に10月3日くらいに届いたという連絡が来ました。

最初に何にも来ていないのよねという方に関しては、その後からも来なくて、ご本人がまた何度もお電話されたようで、最終的に10月1日以降、直接バス会社へ取りに行ってくださいというふうに言われたようです。

ということで、市の職員さん、たぶん自分たちは直接は関係がなくても、うちの地域だけでこれだけ何人もいて、分からないから市役所に電話してという状況があるんだから、立川市全体では大変な数が、市役所に質問が行っているはずなんですよ。単純な質問です。来ないんですよけれども、じゃあいつ頃まで待ってみてくださいと。そういうのって市の職員だって答えますよね。ある程度幾つか同じような質問が来たら、東京のバス会社に、市の職員なんですけれどもって言えば、バス会社もちゃんと答えてくださるでしょう。市民にちゃんと答えられるような情報を持っていたいただきたいと思います、直接関係がなくとも。

もう本当にみんな年寄りなんですけれども、私たちバスカードを使う人たちは。来ない、来ないって心配で眠れないのよねっていうふうにおっしゃっている方もいらっしゃるくらいです。若い方にはあまり関係ないかもしれませんが、バス会社へ行くと、社員さんも営業所へ取りに行くだけだって、結局お金を払って行くんですよっていうふうにおっしゃるんです。そのくらい、やっぱり大切にあれを使っていらっしゃる方もいらっしゃるのです、電話一本、せっかくの電話をかけているんだから、その時点で市の職員が、これこれこうしてくださいとか、待ってくださいとかっていう一言で、安心して待っているということができると思います。その辺もサービスの一環だと思いますので、よろしくお願いします。

(市長)

1点目のくるりんバスについてですけれども、私の公約の中にも、交通不便地域の対策ということ掲げさせていただいております。

今年度、地域公共交通活性化協議会というのをここで立ち上げて、今年度に一回、立川市の、まず普通の民間のバス事業者さん、大きく2社、もう一つ入れると3社目が日野のほうに向かうところがなくなったりとかということがあったりだとか、あるいは、立川市内を走っているバス会社も、今とにかくバス会社自体人手不足で、かろうじて路線を廃止しなくてもいいように、日曜日の1便だけとかという。実際、広聴カードで、もう不便で不便でしょうがないというお話はいただくんです。

根本的には、今、その活性化協議会の中で、具体的にどこの地域がどういう交通不便の状況なのかということをしつかりと、何かその場その場で継ぎ足し、継ぎ足しでやっているんじゃない、立川市全体としてどういうところにどういう交通機関があったら、皆さんが移動に困らないのかというところを、しっかりとアンケート調査も取って、計画をつくろうという、今段階になっています。そのアンケートを取って、しっかりと計画をつくった段階で、くるりんバスをどういうルート再編をするのか、あるいは今の話の中で、実際にバス路線が減便になったとか何とかというところに、バス会社に話はしているんです、何とかならないかと。そうすると、今出ている話は、もうお金の問題じゃないと。お金をくれたら何とかするという話ではなくて、運転手自体がもういないから、どうにもならないんだというふうな話で返ってくる。そう言われちゃうと、もう市としてもどうしようもないと

となると、実際に今、くるりんバスは、公表データだけでも、立川バスさんに委託をして

います。実際にかかった経費と、当然赤字路線、たくさん乗られているところもあって、昔、若葉町もそうだったのかもしれないんですけどもそうでないところもある。そうすると、その赤字分を立川市が補填をするという形で支出をして維持をしていただいていると。それがどれぐらいのところまで、赤字補填が市民の皆さんの理解を得られるのか、あるいはより多く乗ってもらえるようなところに路線をつくらないと、その需要度というところからすると、その路線の使いやすい路線も考えなくてはいけない。でも、その一方で、立川バスにくるりんバスの本数とかルートを増やしたいからお願いをしようとしても、人がいないからと言われてしまうと、実際にはできないんだよなとなると、まだ確定的なことは言えませんが、今のバスのあの大型二種を持っていないでは運行ができないようなバスでは無理なのかなと。

国分寺市のぶんバスとかはもともと、今北町路線というのが道路が狭いので、ずっと国分寺でもぶんバス、普通の立川市と同じようなサイズのをに入れてくれという形だったんだけど、それは認可が取れないから無理だと。11人乗りのコミューターと言われるようなバスに変えて、国分寺市さんがやっている。だから、ある意味、普通の二種でも運転ができるようなサイズ感のバスで委託ができないのかということも考えていかないと。ただ、乗り切れないという問題が、国分寺さんの場合とかだとあるので、予備のバスを用意しているそうなんです。市役所にいつも1台待たせておいて、乗り切れなかったときには応援に行くって。それは、気が利いているなという話なんだけど、そういったことも考えてどうするか。

さらに、普通の二種の免許を持っている人も足りないという話になったときには、これはまたデマンド型タクシーだとか、その地域の中で何かそういうあれをつくってもらってみたいなことだとか、そのアンケートの結果だとか、今の公共交通の事業者がどういう状況なのかということも両方図りながら、何であれば皆さんのそれぞれの地域の交通不便地域と言われているところの対策ができるのかということのを今検討させていただいています。私せっかちだから早くやりたいという気持ちはあるんですけども、急いては事を仕損じるということもありますので、そこは少しお時間を頂戴できればというふうに思っています。

2点目の登校時の見守りで、私もついこの間まで、春まではPTAの副会長やっていて、市長になったからお役御免にさせていただいたんですが、朝の見守りとかもPTAの活動の一環としてやっていて、確かに危ないところがあると思います。

やはり地域の方々のボランティアでやっていただいている向きもあったり、あるいはシルバー人材センターにご協力をいただいているところもあると。また一方で、立川市内においては、今後ちょっと危惧がされるのは、西砂小学校の近くに、これは昭島市域の話なので、巨大物流センターができるということで、立川市としてそこをやめさせるとか、立川の市域では。でも、大型トラックとかどンドン流れてくると、それは子どもの通学路という面では危険だよなという部分については、ハード面、ソフト面含めて、市内の子どもの安全対策というのは私も取っていかなくてはいけないと思います。

ただ、一義的には、学校に関わることについては、教育委員会にまずは考えていただかなくてはいけないという立て付けなっているので、その部分については、教育委員会ともいろいろと相談をしながら、市道等に関しては立川市の管理ですし、また交通の問題については、これは交通管理者である警視庁とも相談をしながらということになるかと思いますが、子どもの安全対策というものは、あのときああしておけばよかったねと、今おっしゃるようにならないように、でも、全てを全部網羅できるかということ、なかなかそれも、担い手という面ではどこがということもあると思いますので、その部分については、ちょっと危険な箇所とか、そういったことも広聴カードでいただいたりすることもありますので、庁内で共有をして、対策をどういうふうにしていけるのかということは考えていきたいと思っています。

最後にシルバーパスですが、私も都議会議員をやっていたんで、東京都の事業でバス協会に委託をしてということで、実態はそうなんだということが分かりました。

1つには、今、最後に一義的には市がやっている事業ではないので、今どういう事務処理をされているのか、なぜ送られないのかということが、把握はできていないのが現状ですけども、今日、福祉部長もいますので、ちょっと東京都の福祉部門を通じてなのかで、なぜ遅れているのか。ただこれも、安易にいついつまで待っていてくれれば来ますよって言ってしまうと、本当にそうなのか、完全にデータから漏れて、その方の情報が東京都の中の委託として漏れてしまっていると、立川市がいいかげんことを言って、待っていたんだけど来ないということも、可能性としてはなくはない話なので、一般論としては、どういう状況なのかということ、立川市が情報を入手して、それをお伝えするということではできるかもしれない。

けれども、ただ、個別案件についてまで、ちょっと市としては責任を負えないので、逆にそういういったお話がタウンミーティングで出たということは、立川からも2人都議会議員出ていますから、公平に私からシルバーパスについてバス協会の事務手続が滞っていますよと、そこをぜひ東京都を通じてちゃんとやってくださいねという願いは、イベント等でお会いしたときに、その課題というのは、東京都で解決をしてもらうようにすると同時に、立川市としても、一般論としたら情報は入手ができるかもしれないけれども、ただし書をしておかないと、市がそう言ったのに来ないじゃないかって話になりかねない課題でもあるというところで、その部分についてはちょっと慎重に対応させてください。

個別、この人の案件について確認してくれって言われても、相手方がそういう対応を市に教えてくれるのかどうなのかということのも、ちょっとこの場では。

(参加者)

そうは言っていないです。

(市長)

言っていないでしょう。言っていないから、一般論としては、今遅れているみたいですか、あと電話番号が違うというのは、それはもってのほかで、ちゃんとした情報をお知らせすることが原則だと思います。けれどもそのあたりは、少しでも市民サービスにつながるように、どこまでは立川市でできるのかということを持ち帰って整理させていただければと思います。

(市長)

では、次の方どうぞ。

(参加者)

市長に伺ってもいいのかどうか、お願いしてもいいのかどうかという、ちょっと狭い話をお願いをしたいと思います。この柴崎福祉会館の話になります。通信環境でございます。

立老連につきましては、この柴崎会館を優先的に使わせていただきまして、また、事務局も間借りをさせていただいています。大変有り難いと思っております。ただ、Wi-Fi環境がまだないんですね。それぞれの地域の福祉会館は徐々にWi-Fi化になっているみたいですけども、早くこの福祉会館もWi-Fi化をしていただきたいというのが1点。

2点目は、この会館の回線状況です。電話回線が3回線あるそうです、ファックス回線が1回線、合計4回線までは今ありますが、この3回線につきまして、福祉総務課と、それから立

老連の事務局と、それからシルバー大学、その3つの組織がこの3回線を使っています。お互いかどうかよく分かりませんが、話中の場合、次の回線に移る機能があるそうです。立老連の事務局の電話につきましては、福祉総務課が話中の場合は、事務局の電話に移ります。そうすると、一般の市民の方が福祉総務課に電話をした内容で、ここに移ってきます。そうすると、内容が分からないので対応ができないということになるということで、業務の煩瑣にもなりまじ、市民サービスの低下につながるのではないかと考えておりますので、その辺をちょっとお調べいただきたいと思うんですね。

その機能があるかどうか分かりませんが、立老連の事務局の電話が話中の場合は、どこにもかからないそうです。それから、シルバー大学もちょっとよく分からないんですけども、先ほど言った福祉総務課の電話が話中の場合はこちらに移ってくる、その仕組みを何とか改善をしていただきたいというお願いでございます。

以上です。

（福祉総務課長）

柴崎福祉会館だけではなくて、福祉会館、立川市に4館ありますけれども、そのWi-Fiの設置につきましては、今、契約も結びまして、11月から12月ぐらいですかね、入る形で、今調整のほうをしてございますので、もうしばらくお待ちいただければと思います。よろしく願いいたします。

それから、電話のところですが、ちょっと、私も実は柴崎福祉会館に結構、立老連の事務局長に出ているんで、会長にというような話がよくあるんですけども、ちょっとそのところ、もし改善ができるのであれば検討はしたいと思いますのでここで調べさせていただきたいというふうに思います。

以上です。

（市長）

ということですので、Wi-Fiに関しては11月になると。たしか予算は取ってあった気がしたんですけどもなって思いながら、入るそうです。

回線の問題については、おっしゃるとおりで、受けたほうも困ってしまうということもありますから、たぶんビジネスフォンとかそういうものの転送のルールのことかなとは思っていますので調べさせていただいて、皆さんにも、あるいは問合せをしている市民の側にも、全然違うところに回ってしまうと話が通じないと。まだ話中のほうが、仕方ないと思ってもらえる部分もあるかもしれませんので、調べさせていただきたいと思います。

（市長）

では、次の方どうぞ。

（参加者）

柴崎町6丁目の道路整備したときの記念碑があるんですが、ご存じですよ。日野橋の信号の1つ手前に記念碑がありまして、その木が、高木がすごくぼうぼうとしているんですよ。私の聞いた話だと、十数年前に自治会のほうで費用を負担して高木を剪定したってことを聞いています。

この記念碑のところの高木なんで、市のほうでできないのかなと考えております。一度調べていただいて、ご連絡をいただければと思います。

(市長)

もともと寄附をしていただいた記念碑としてという、ただ、植わっている場所が市道なのか、民有地なのか、あるいは公園なのかで、公であればやりやすい。ただ、民有地の場合においては、その民有地の方の許可を得ないと、勝手に剪定もできないので、ちょっと場所を後で、私何となく今、場所が想像ついたんですけれども、あそこの日野橋の手前で、日野橋じゃなくて、日野橋の交差点のところの1つ手前で、反対側が宅急便屋さんがあった左側。

(参加者)

そうです。

(市長)

これは持ち帰らせていただいて、市で対応ができるようでしたら速やかにですし、相手方の所有権の関係とか何とかがあるようですと、先方とちょっと調整をしなくてはいけないということになりますので。

(市長)

では、次の方どうぞ。

(参加者)

私、車の運転しているんですけれども、道が狭いのと電信柱が邪魔で、通行者、特に自転車がいると、車が大変、安全を確保するのが難しいときがあるんですけれども、市長としては、立川の道路はどのようにその辺のビジョンというのをお聞きしたいと思うんですけれども。

(市長)

電信柱に関してなんですけれども、今、東京都の事業の中で、緊急輸送道路、災害時については、例えば、皆様方が一番目にするところという、高松町の商店街、高松大通りとかそういう幹線道路に関しては、無電柱化の事業、東京都の予算で、都道ですのでやっていただいていると。

ただ、立川市の、もともと電柱って東京電力であったり、あるいはN T Tであったりという、電気通信事業者が建てているものと、あとは街路灯という形で、市の街路灯であったり、あるいは商店街の街路灯であったりということ、直接的に市が所有をしているわけでもないところなので、それを無電柱化をしていくという、例えば、その道路の電柱をなくするという形で無電柱化をしていこうということになると、かなりのコストがかかる。

なので、お気持ちは十分に分かるんですけれども、よっぽど狭隘道路で危ないとか、ただ、電柱1つを東京電力にお願いをして移動をしてもらうという、移動の場所のところがオーケーが出ればとか、あとは何百メートル置きにつくらなくてはいけないとかっていうのが東京電力にもあるらしくて、そこについて移動するということ、こちら側からお願いをすると、100万単位のお金がかかるということなので、そこをどこまでやっていくのかというのは、今後、市内の狭隘道路の中でご高齢者の方々が安心して走れるという部分についてはかなり重い課題です。一朝一夕にはできないと思いますが、考えさせてください。

あとは歩道等々の自転車の通行なんですけれども、ここで立川の警察署のほうも、今、原則は車道になっているじゃないですか。ただ、小さいお子さんとか高齢者に関しては除外という。

今まで自転車通行可って書いてあったところも、順次なくしていくそうなんです。自転車走行帯と歩道が明確に分離しているところは残すらしいんですけども、それ以外のものについては、原則車道に出てもら。ただ、車道に出ると、今度自転車が車との関係で危ない、歩道に上がると、今度歩行者との関係で歩行者が危ないというところで、どちらもどっちだということなんです。そのルールをどういうふうにしていくか、ルールはもう決まっているんですけども、注意喚起をどういうふうにしていくのかというのは、課題として受け止めさせていただくという形で、ここでもうやります、ああやりますというのが言えないことが、ちょっと大変申し訳ないんですけども、そういった課題があるということは市としても受け止めながら、町中の交通安全という意味では考えさせていただければと思います。

(参加者)

もう一つ。

(市長)

はい、どうぞ。

(参加者)

そうすると、自転車だけじゃなくて、電動で動く小さな年寄りが乗っているシニアカー、これ、結構幅ありますよね。だんだんと増えてきているんですね。そうすると、今おっしゃったように、自転車だけじゃなくて、もっと違った観点も必要になってくるのかなと思うんですけども。

(市長)

今、シニアカーに関しては、議会とかで質問をいただくときには、シニアカーを置く場所がないというほうで、市営の駐車場でシニアカーの場所をつくってくれないかというようなご意見のほうで、特に南口の柴崎町のあの交差点のところとか。でも、それはそういう方が多くなるんだったら少し考えたほうがいいのかなって。反面、シニアカー自体もさっきの話と同じですよ。自転車だけではなくて、道幅の問題で、さっきの一番初めのくるりんバスの話もありますけれども、最後、公共の何とかには乗るんだけど、そこから先の区間をどういうふうな移動手段にするのかというときには、そういった電動のシニアカーのレンタルシステムとか何とかというのがあるのかなとは、ちょっと私の中では抽象的になってしまうんだけど、そういうことも、最後にそれぞれの地域の中でどういうふうに皆さんが動きやすいのかなというところではあるんですけど、その一方で、今のご指摘は道が狭い、そこで歩行者や、あるいは車との接触の危険性もあるということで、そのあたりもいろいろと立川の交通問題考えていく中で、そういったご意見もいただいているので、専門家の方どう見ますかということも併せて検討をさせていただければと思います。

(市長)

では、次の方どうぞ。

(参加者)

残堀川、根川の桜の木の問題です。非常にもう樹齢がたって、伐採をしています。これはし

ようがないのかなと。ただ、我々は、この残堀川、根川の野球場まで、この辺の桜はどうしても残していきたい、残してもらいたいということで、伐採したそのままなんです。何本伐採したかは、私もカウントはしていませんけれども、確かにここの桜は樹齢がたっています。その辺の対策として、伐採した横にもう次の木を植えるとかそのような考え方で進める予定があるのか、当面は伐採してそのままか、今後の動きというか考え方を教えていただきたいなと思っています。

（市長）

勝手に答えてしまうと怒られるかもしれないけれども、たぶん今のご質問の趣旨というのは、桜の木というものがどういうものかご理解をいただいている、よく他の市では、桜の木切らないでみたいな話なんだけれども、桜というのは樹齢があって、ある程度年数がすると倒木する可能性があるんで、切って、新しい若木に植え替えていって、サイクルをちゃんとしていくことが、桜の並木を良好に保全するには、そのほうが良いということなので。

ただ、今、切ってしまっているのをそのままというのは寂しいですね。よく公園とかっていうと、後で桜のきれいな時期って一瞬で、その後、落ち葉だとか毛虫だとか何とかで、苦情の来るところも場所によってはあるんですよ。そうすると、じゃ、植え替えるというときには、その地域の方の理解を得なくてはいけないというのがあるので。そういうところがない、別に苦情がなくて、別にいいよというところであれば、更新をしていったほうが良いのかなと思っている市長ですが、補足があるようですので、市長公室長、どうぞ。

（市長公室長）

正確な情報ではないんですが、環境資源循環部のほうでも、今ちょうど、先ほどもありました下水の工事ですとか、そういった関係で、根川の桜の中で、若干老木化したものについて伐採をしているというふうに聞いております。工事ですとか一段落ついた後には、新しいものを植樹するというふうに聞いておりまして、ソメイヨシノよりも若干強くて、しかもあまり枝ぶりが伸びないということで、ジンダイアケボノという品種がございまして、そのあたりのものも検討しているというふうに聞いております。

いつどのぐらいのというような情報はまだ把握していないんですけれども、ある程度のものにつきましては、植え替えていくということを聞いております。

（市長）

齟齬がなくて良かったということで、ちゃんとやっていきたいと思います。
では、次の方どうぞ。

（参加者）

立川シティハーフマラソンというのがあります。そのタイム設定なんですけど、今年から何か15キロの関門がすごく厳しくなったような気がするんです。5キロ、10キロ、15キロで関門があるんですけれども、5キロと10キロは公道、15キロがたしか園内にあったんですが、他の大会と比べて、ゴールの設定時間はそんなに厳しくはないと思うんですが、途中の関門がかなり、アスリートの高いときはもう、全然散歩みたいなものなんですけれども、高齢者とかはあまり練習していない人もいたからポイントを下げているような気がするんですよ、15キロまで。前は16キロの関門があって、かなり緩く、そこを過ぎればもうちゃんとゴールできたということになるんですけれども、15キロまで走ってきて、そこでふり落とされてかわいそうなこと

になってしまして。

これ、立川市も関わっている大会ですね。スポーツ振興、ルールはどこで決めるのか知りません。タイム設定に関しては、公道の規制時間があってそんなに勝手に延ばせない。5分とかそのくらいのあれはできると思いますので、これ、時間内の完走率とかどのくらいあったのか、ネットで調べてみたら出ていなかった。そういうことを考えて、タイムを変更していただけないかというような話なんです。

それから、もう一つなんですけれども、さっき残堀川の話が出ましたので、思い出したんですけれども、10年ぐらい前ですかね。3つの市で残堀川を有志で掃除しようという催しがあって、川の中に入ってごみ拾いやったんですけれども、まあすごい、自転車はある、布団もある、もう何でもありで、物すごい量が出てきた。今でも見ると、そういうのは、点検すると物すごいあって、大げさでいうと、みんな多摩川に流れて海に行くと思うんですけれども、川の管理は市は関係ないことなんですけれども、捨てるのは市民なので、そういうところを何かできないでしょうかという質問なんですけれども。

以上です。

（市長）

1点目のシティハーフマラソンについては、私、今年度初めてだったので、前年度と比較してどうなのかということは、確認をさせていただければと思います。

あわせて、これ一般論なんですけれども、要は、交通規制をかける関係が、警視庁の立川警察署の管轄で、そこで何時から何時まで交通規制かけてもらえるのか。また、道路も、立川市の市道であれば、立川市の責任なんですけれども、マラソンやるときというのは、実行委員会をつくっていますけれども、立川市が絡んでいるのと、あとは警察、東京都の都道の北多摩北部建設事務所等々、あと実際に運営していただいたのは陸上競技協会さんとか、いろんなステークホルダーの方がいらっしゃって、その方たちと来年度に向けて、今いただいたこういうお話があるんだというところで、どこまでだったら許容範囲なのかという部分を、一番最後ネックになるのは、たぶん警察としてどこまで交通の規制、全部止めるわけではないですけれども、あとは陸協さんからも、いろいろと都道の使い勝手のことで、都議会議員時代にいろいろとご相談を受けたことがあるので、たぶん東京都としてのちょっと考え方もあるのかなと。

その一方で、おっしゃっているように、市民マラソンですから、より多くの市民の方が最後、途中でふい落とされて残念ということがないように、都心でやっている東京マラソンも石原慎太郎さんが最初に始めて、そのときにもだんだん完走率を上げるように、それは警視庁との交渉なんでしょうけれども、時間を延ばしていつているというところもありますから、そこはどこまで可能なのかというのは、今年度の3月の開催に向けて検討の俎上に上げさせていただければというふうに思っています。

（参加者）

園内は公道じゃないのである程度。

（市長）

園内だから、昭和記念公園と自衛隊も絡んでいるんですよね。

（参加者）

最後の15キロのところは、もう園内だから。

(市長)

園内だけなので、そうすると、昭和記念公園さんとの話し合いだけで済む場合であったら…

(参加者)

5分とか。

(市長)

そうすると、あとは、逆に運営側が何時までに上げたいとかというのがあるのか、ないのかということも含めての話だと思いますので、その点については、15キロは園内ですもんね。ハーフマラソンは外へ出ていくという。

(参加者)

でも、ゴールはもう決まっているわけですから。

(市長)

その中間の話ですもんね。そこは、そういうお話があるということは踏まえて、次の開催に向けての課題として取り上げていければなというふうに思っています。

あと、残堀川じゃないんですけれども、玉川上水で、広聴カードとかで来て、玉川上水の中にごみ捨ててしまうとかということがあって、それは、玉川上水は、あれは東京都の水道局が管理で、周りの歩道は、あれは建設局なんですけれども、中に入ってしまったものは、立川市からそういうお話があったときには、水道局のほうに連絡をして、ちょっと撤去してもらうという形を取っています。

残堀川については、東京都建設局が河川管理者なので、市が管理をしているものじゃないので、勝手にああします、こうしますって言えません。というお話をいただいたということを、東京都建設局のほうと話はしてみたいというふうに思います。

捨てさせないようにするのは、これ究極的には人のマナーの話で、そこをどういうふうに捨てるなど書いて一時的にはよくなる、ここは捨てないでって、捨てた場合には何とかで罰せられますよというような形での注意喚起になるんでしょうけれども、それで効力があるのかどうなのかということも併せて、東京都と相談をさせていただければというふうに思います。

(参加者)

市報なんかで注意喚起なんかをしていただければ。

(市長)

ただ、市報ってページたくさんあるじゃないですか。結構皆さん、市の広報に載せていうふうにおっしゃられるんですけども、情報が埋もれてしまうということもあるので。実際に、それはそれで1つ、市のホームページだとかツイッターだとかLINEでいろんな情報を流しているというやり方もあるので、そういうやり方を併用すると同時に、やっぱりごみを捨てる場所が多いところに、そういうことをしなさんなよということを罪に問われることですよということを注意喚起をしていくのと併せてやったほうがいいのかなというふうには感じていますので、いろいろと方策は検討させていただければと思います。

(参加者)

ありがとうございます。

(市長)

では、あと二方でよろしいですか。

(参加者)

以前にも私言ったことがあるんですけども、立川の北口のバスターミナル。南口には上下のエスカレーターがあるんですけども、北口には上りのエスカレーターはありますけれども、下りのエスカレーター、ルミネがオープンするときには、そのまま中のエスカレーターを使うことができるんですけども、バスターミナルの階段のところには、上りも下りもエスカレーターがないんですよね。大変不便で前にも何か市報には予算を取ったって、1億の予算を取ったというのを私ちらっと見たことあるんですけども、その後どういうふうになっていますでしょうか。

ただ、ビックカメラのほうには上下のエスカレーターはあります。ルミネがオープンしているときには下りは使えるんですけども、もう閉まってしまいますと、下り、結構段差があるもんですから、ちょっと足の不自由な方とか何かとかで、大変ご不自由じゃないかと思います。その辺について、市ではどのような対処を考えているか教えてください。

(市長)

過去に予算を取ったかどうかというのは、私は存じ上げていないんですけども、物理的な面を言うと、今のバス停、中洲が2つぐらいあったのかな。あそこにエスカレーターをつけるということは、物理的には難しいと思います。現実でいうと、ルミネのところのエスカレーターが使えないときには、交番のわきにエレベーターがありますので、エレベーターをご利用いただければと。

大変申し訳ない話なんですけれども、あのエスカレーターってつけるのに大体2億円ぐらいお金がかかります。2億円払って終わりであればいいんですけども、雨ざらしのところは、よく皆さんも利用されていて分かると思うんですけども、ビックカメラの前もよく故障します。なので、点検を、いわゆるランニングコストと言われる部分にちょっとお金がかかってしまうので、申し訳ないんですけども、そこにお金をなかなか、私の判断の中ではかけられるかというと、かけにくいなど。今、代替手段が何もないというのであれば、そういったこともしくははいけないんですけども、エレベーターが一応動いていますので、エレベーターをご利用いただければ。つけるって言えればいいんですけども、そこに1基だけじゃ済まないじゃないですか。そうすると、プラスで2億円ずつ払って、さらに年間のランニングコストをかけて。

今たぶん、立川駅前のデッキについては、雨漏りするじゃないですか。南口もしかりなんですけれども、あのデッキをいかに安全な状態で維持をしていくのかというところに、これから幾らお金がかかるのかなというところが、私の中では、無尽蔵にお金あるわけではないので、それはやらざるを得ないので、できればエレベーターを使ってくださいというお願いです。

(参加者)

大きな災害のときに、逃げ場所、避難場所というのは、ほとんど学校が多いです。その場合、

車は入れますか。

(市長)

入れません。

(参加者)

車での避難ができるのかできないのか、これをちょっとお聞きしたかった。

どうもありがとうございました。

(市長)

すみません。基本的というんですか、たぶん絶対に、車での避難は学校へはできませんということなので、それはちゃんと周知をしなくてはいけないのかなと。

一方で、大規模災害での避難時と、私、去年の9月8日が就任日で、ちょうど台風が来るという話があって、气象台に確認をしたら、60ミリ超えるかもしれないと。今、東京都内のほうはどんどんまた変えているんですけども、50ミリ以上1時間雨が降ると、越水じゃなくて、内水反乱を起こす可能性があるんで、ちょっと浸水する可能性の高いところは、早めに避難、この近くって、ここでやっていたのと、あと滝ノ上会館であったり、柴崎福祉会館であったりとかというところを、避難場所として早めにやろうと。何もなかったら、それはそれでいいよねというところで。

そういったところに、ご高齢者の方々を歩いて行けというのはどうなのかなって。地震が起ったときには、まず車は動かなくなりますので、大規模災害のときには車NGだけれども、これから雨降るよとか何とかというときに、どういうふうに移動をさせるのかというのは考えなくてはいけないのかなと。

競輪場の集合棟とか何とかというところ、来たらしようがないなというのもあるんだけど、基本的には公共交通で、あるいは乗り合わせてとか、いろんな方法は考えていく必要あるのかなというふうに思っていますが、学校は駄目ということでご理解を。

書いてなかったりしますかね。その災害マップとかに、車は駄目よというの。私もちゃんとそこまで見ていなかった。

(参加者)

皆さんが知っていればいいですけども。

(市長)

そうしたら、逆にそういった声があるのであるならば、それをちゃんと市民の皆さんにもお知らせをしておいたほうがいいと思いますので。

(参加者)

そのほうがいいかもしれない。

(市長)

確認を取らせていただいて、できること、できないことで、こういう場合にはこうだということをちゃんと想定をして、市民の皆さんに現場で無用な混乱にならないような、事前の策はしっかりと打っていきたいと思います。

(参加者)

現実には、何年か前、私のところにそういうご相談に来た方がいらっしゃったんで、お聞きしました。

(改革推進課長)

それでは、皆様、ご質問いただきましてありがとうございました。

これをもちまして、市長と本気で語るタウンミーティング「言っちゃお！市長と。」を終了させていただきます。

(市長)

皆さん、本日はどうもありがとうございました。

—— 了 ——